

祝 「JA IP-Phone」稼働第1号 ～JA安芸～

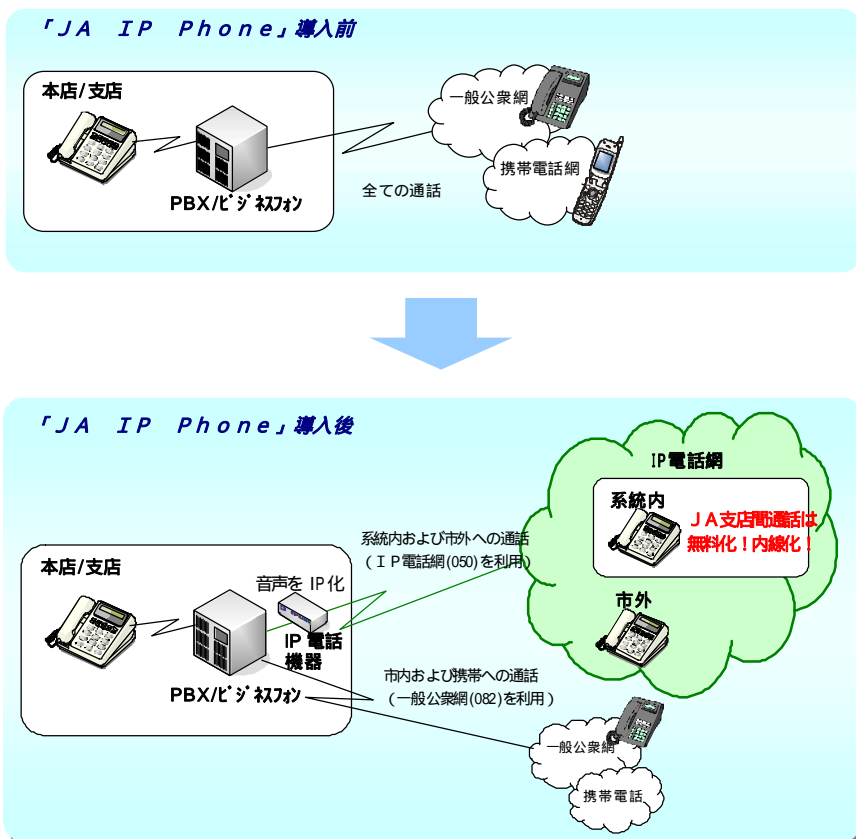
JA安芸において、「JA IP-Phone」が稼働いたしました。

「JA IP-Phone」は、NTT西日本と㈱JA広島情報センターのアライアンス（提携）により実現したJAグループ広島に特化したIP電話サービスです。

JA安芸では、これまで通信コストの削減方法について検討されてこられ、この度、情報センターが提供する「JA IP-Phone」とPHSを融合して通信コストの削減の取組みを開始されました。

そこで、「JA IP-Phone」ファーストユーザーとなられたJA安芸にご協力いただき、実際に利用されてみての感想や、今後「JA IP-Phone」に望まれることなど、利用者としてのご感想を永山組合長をはじめ職員の方々へ取材させていただきましたので、JA安芸におけるシステムの構成や利用概要などとともにご紹介させていただきます。

<JA安芸「JA IP-Phone」利用概要>

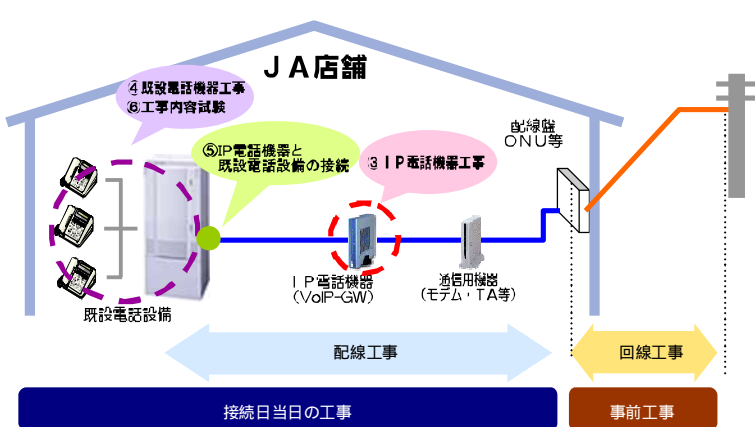


「JA IP-Phone」とセットで全ての市内および携帯への通話もより安価になります。
通話料金は右下通話料金表のとおり

<JA安芸 導入概要>

- ・導入店舗数：22店舗
- ・導入回線数：28契約 47番号
- ・工事期間：9月17日～30日
- ・導入スケジュール
 - 17日：基本機能試験対象店舗工事（中野支店、横浜支店の2店舗）
 - 17日～18日：基本機能試験実施
 - 24日～30日：その他店舗展開

<導入工事の概要>



<JA安芸 永山組合長>

～導入直後のJA安芸の様子について取材させていただきました。～

「JA IP-Phone」の導入経緯について教えてください

JA安芸では、4、5年ほど前、JA独自のIP電話導入を検討していました。

IP電話導入のメリットは、通話料の削減です。しかしながら独自導入では、初期投資等の回収に10年はかかるとの試算結果が出ました。

これでは、いくら通話料が削減できたとしても、メリットが半減してしまうため導入には至っていませんでした。

そんなとき、情報センターでIP電話の取組みを行うとの話があり今回の導入に至りました。



<木村主任（左）、浅原さん（右）>

導入の決め手は何ですか

情報センターが構築した「JA IP-Phone」を活用すると、県内JAグループ全体というスケールメリット等があり、通話コストの削減、初期導入費用の軽減、安全性が見込めると判断し、導入を決めました。



<IP電話を利用する様子>

実際に、「JA IP-Phone」を使ってみていかがですか

おそらく、職員の大半はIP電話になったことに気づいていないのではないのでしょうか。

職員は意識することなく、「JA IP-Phone」を有効に活用できています。

声は聞き取りやすいですか

当初、ノイズや雑音を心配していましたが、導入試験の時点で問題がないことが分かりました。

実際に導入してみて、音質、音量とも、一般公衆網よりクリアで聞き取りやすいと感じています。

実際に、「JA IP-Phone」を使ってみていかがですか

まず、連合会の利用開始、続いて他のJAの利用開始をしてほしいと考えます。JA安芸の通話先の内訳は、管内JA支店間の電話が7割で、連合会が1割であり、無料通話できる範囲が広がることを期待しています。

<JA安芸「JA IP-Phone」通話料金>

通話料	
JA IP-Phone利用者	無料 (10.4円/3分)
IP電話利用者 (無料先)	無料 (10.4円/3分 ²)
携帯電話	16円/分 ¹ (10円/26秒 ²)
PHS	20円/90秒 (1通話10円+10円/1分 ²)
市内	7.1円/3分 ¹ (8.5円/3分)
同一県内市外	7.5円/3分 (10円/90秒 ²)
県外	7.5円/3分 (8.4円/22.5秒 ²)

上段:JA IP-Phone加入の通話料金
下段:カッコ内は、通常の固定電話(割引なし)の通話料金

1...一般公衆網(082)を利用した場合の通話料金
2...通話先までの距離、通話先のキャリア(ドコモ等)により変動

JA安芸の職員および関係者の方々には、今回の「JA IP-Phone」導入において、工事にかかる調整・立会い、取材へのご協力等、大変なご協力をいただき、心より感謝いたします。
(記:谷本優樹)